

**議案第27号関連資料  
明石市立明石商業高等学校福祉科創設について**

市立明石商業高等学校に福祉科を創設することにより、福祉の知識や技術を身に付けた生徒が介護福祉士の国家資格を取得し、今後、ますます必要とされる福祉分野への就職はもとより、福祉系・医療系の大学等に進学し更なるスキルアップを図るなど、生徒の自己実現を促進し、将来についての可能性を広げることを目指します。

**1 設置場所・時期**

- (1) 場 所：市立明石商業高等学校
- (2) 時 期：2024年（令和6年）4月

**2 福祉科の概要**

- (1) 学年定員：40名（予定）
- (2) 教育内容：高校卒業（卒業見込み含む）時点で介護福祉士国家試験の受験資格を取得可能なカリキュラムを実施します。
- (3) 施 設：介護実習室等福祉系高等学校に必要とされる施設を、実習棟として新たに市立明石商業高等学校敷地内に設置します。

**3 予算額**

実習棟整備に係る費用	設計・工事費 572,100千円（国庫補助金約8,000万円） うち令和4年度執行予定額：49,300千円 うち令和5年度執行予定額：522,800千円（債務負担行為）						
	建物の規模						
	<table border="1"> <tr> <td>延床面積</td> <td>約1,500㎡</td> </tr> <tr> <td>階数</td> <td>3階建て</td> </tr> <tr> <td>部屋の構成</td> <td>介護実習室、入浴実習室ほか</td> </tr> </table>	延床面積	約1,500㎡	階数	3階建て	部屋の構成	介護実習室、入浴実習室ほか
	延床面積	約1,500㎡					
階数	3階建て						
部屋の構成	介護実習室、入浴実習室ほか						
教員確保に係る費用	福祉教員免許状取得費用助成 300千円 福祉教員免許状取得に係る認定講習（社会福祉総合実習）講師謝礼 800千円 教員募集広告料等 1,500千円 会場使用料等 560千円						
その他準備事務に係る費用	旅費・需用費 1,700千円						

#### 4 各種意見

(1)令和3年度のトライやる・ウィークで、福祉施設で体験活動を行った中学2年生に対してヒアリングを実施しました。

＜中学生からの主な意見＞

・トライやるウィークに行く前は、福祉施設に対して「暗い」印象を持っていたが、実際に行ってみると「明るい」「優しい」印象に変わり、福祉分野の勉強や仕事に興味を持つきっかけになった。下級生にも福祉施設での体験を薦めたい。

・働く人の姿を見て、福祉の仕事の重要性を強く感じた。

また、将来就きたい仕事を具体的に決めている生徒が半数以上おり、将来の仕事につながる学習ができる高等学校や大学に進学したいとの意見もありました。

(2)社会福祉審議会で、「市立明石商業高等学校福祉科創設検討会」の報告を行いました。

＜委員からの意見＞

・福祉業界では専門的スキルを持った人材の育成が課題となっているので、学校教育のほか、社会人向講習を行う等地域の福祉教育の拠点として、是非、設立できるよう積極的に取り組んでほしい。

・福祉事業の従事者の中に教員免許の所持者がいることも考えられるので教員の確保では福祉事業者からも情報収集すべきである。

・高等学校卒業後の進学ルートを作ることで志願者が増えると思う。

・中学生の保護者や中学校教員にも福祉科を理解してもらうことが重要である。

#### 5 スケジュール

令和4年	4月	実習棟設計・工事入札
	6月	市議会 実習棟設計・工事契約議案提出
	7月	実習棟設計・工事契約締結⇒設計着手
令和5年	1月	実習棟工事着手
	3月	福祉系高等学校等設置計画書提出（文部科学省・厚生労働省）
	4月	学科設置に係る認可申請（兵庫県教育委員会）
	9月	福祉系高等学校等指定申請書提出（文部科学省・厚生労働省）
	11月	実習棟工事完了
令和6年	4月	福祉科開設